

ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

1. 江田島市立認定こども園えたじま

2. 今年度の活動概要

(1) 環境構成

平成30年度に開園した本園の近くには海があります。今年度は砂浜までの通路にフェンスを、階段には手すりを整備しました。



(2) 活動内容

①海の生き物みつけ（6月）…さとうみ科学館の館長さんに海辺の生き物について紹介してもらい一緒に海へ行きました。「海の生き物を見つけよう」「どこに隠れとるかね」と、岩をひっくり返したり穴を掘ったりして探すとカニ・ヤドカリ・貝などを発見しました。次々に見つけては「おった」「ここにも」と捕まえ、見つけた生き物は、園で飼育し観察しました。



②浜辺の砂遊び（10月）…青少年交流の家の方々にライフジャケットを着せてもらい、浜辺に行きました。「砂がサラサラで気持ちいいね」と感触を伝え合ったり波の音や潮の香りを感じながら遊びました。開放感もあり、だんだんと海水を運び砂に流すなどの遊びに発展しました。



③海の生き物に触ってみよう（10月）…さとうみ科学館の館長さんに江田島の海や生き物について映像をみせてもらい、その後、カニ・ヒトデ・ナマコ・カブトガニなどの生き物を実際に触ってみました。「こうやって優しく持ってね」と持ち方を教え合ったり、興味深そうに眺めていました。



- ④江田島の牡蠣打ちを見学（2月）…地元の牡蠣屋さんへ行き、牡蠣打ち場を見せてもらいました。牡蠣打ちの様子に興味を持ったり、「1日に牡蠣はどれくらい採れますか」「牡蠣は何を食べているのですか」「牡蠣の殻はどうするんですか」などの質問があがり、返答にもしっかり耳を傾けていました。



(3) その他

園の近くにある海を年長児が『ふれあいかいがん』と名付け、海を身近に感じながら生活しています。

砂浜で見つけた貝がらや漂流物は子ども達にとって宝物です。見つけた物を使ってスタンプ遊びをしたり、製作をしたり、お金に見立ててごっこ遊びに使ったりしました。

自然保育は、諸感覚を刺激し、心を動かされる体験となり、表情や表現を豊かにしていると思います。子ども達の感性や思いに共感しながら、更なる活動へつなげていきたいと思っています。

